

第8回 海と命と地球をめぐる公開講演会

なぜ 大規模噴火

は起きる
のか？

「陸の火山」と
「海の火山」から探る

海洋研究開発機構
羽生毅

神奈川県立 生命の星・地球博物館
西澤文勝

2020年3月15日(日) 14:00～16:00 (開場 13:30)

神奈川県立生命の星・地球博物館 SEISAミュージアムシアター
(神奈川県小田原市入生田 499)

大規模噴火は、地球の歴史上何度も起きています。現代の私たちが見たこともない規模の噴火は、生物の大量絶滅や気候変動など、地球環境を大きく変えることにもつながりました。そんな噴火には、爆発の規模や噴出物などさまざまなタイプがあります。過去にどんな噴火があったのか、どのように大規模噴火は起きるのか、「陸の火山」と「海の火山」の研究者が語ります。

博物館の開館記念イベント！
ミューズ・フェスタ
2020

3月14日(土)・15日(日)

ミューズ・フェスタは博物館の開館記念日を祝うお祭り、子どもも大人も楽しめるイベントです。この2日間は常設展示も無料でご覧いただけます。どうぞみなさまお気軽にお越しください。

陸

海

なぜ 大規模噴火

は起
きる
の
か？

「陸の火山」と
「海の火山」から探る

大規模噴火と火山灰

—南九州のカルデラ地域の爆発的噴火史—

西澤 文勝

日本には現在、111の活火山が存在しています。私たちは古くから温泉や美しい景観をはじめとする活火山の恩恵を受けてきました。その一方で、噴火は時に自然災害をもたらすため、私たちはそれに備えながら生活してきました。噴火のタイプは、大きく分けて2つあります。火山灰や軽石を噴出する爆発的噴火と、溶岩を流出する非爆発的噴火です。今回は、日本列島で起こってきた大規模な爆発的噴火に注目し、日本の火山灰の主要な噴出源の一つである南九州のカルデラ地域を事例に、その噴火現象や噴出物である火山灰や軽石を対象にした研究について紹介します。

にしざわふみかつ
神奈川県立 生命の星・地球博物館 学芸員



専門は火山灰編年学、火山地質学。南九州のカルデラ地域から噴出した大規模火砕流堆積物の分布や層序について調査するとともに、それらの噴火で日本各地にもたらされた広域火山灰を集めながら、南九州の爆発的な火山噴火史を明らかにしようとしています。最近では、箱根火山の噴出物や神奈川県内に分布する火山灰も研究対象に加えて、研究を行っています。

海底に刻まれた 火山活動の痕跡

羽生 毅

海にも大規模火山があるのをご存知でしょうか？富士山より大きい海底火山なんて珍しくありません。生物大量絶滅の引き金になったと言われる巨大海台と呼ばれる火山は日本列島より大きいし、ハワイのように何千万年もしつと活動を続けている火山もあります。そして、海底にありながら海面上にまで火砕流をあふれさせるような大規模噴火を起こした火山は、日本の近くにもあります。海底調査から明らかになってきた火山活動の実態と、大量のマグマを生み出すメカニズムの背景にある壮大な地球の営みについてお話しします。

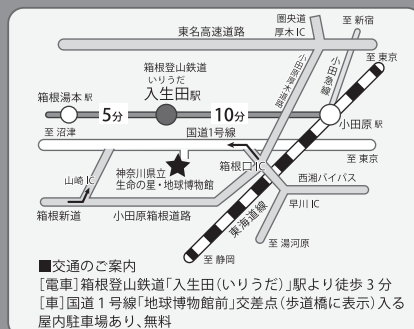
はにゆうたけし
海洋研究開発機構 主任研究員



専門は固体地球化学、火山学。地球の深いところにマグマの根を持つ海域火山の調査を通じ、地球の進化を探る研究を行っています。これまで、ハワイ、サモア、タヒチ、セントヘレナ、ビトケアンなど南国の楽園から秘境の島に至るまで、陸域、海域調査を実施。最近では日本近辺の活動的の海域火山の調査にも乗り出しています。

神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History
<http://nh.kanagawa-museum.jp/>

海と地球の研究所
JAMSTEC 海洋研究開発機構
<http://www.jamstec.go.jp/>



神奈川県立 生命の星・地球博物館
神奈川県小田原市入生田499 TEL:0465-21-1515